

○企業訪問

私たちの班はライオン株式会社を訪問しました。私は科学者の道に興味があり、研究所を見てみたいと思ったので、今回の企業訪問はとても貴重な体験でした。

ライオンさんに入ってみると、左手には会社の商品がずらりと並んでいる大きなスペースや、苦勞の末開発された初商品、会社の歴史についての展示、実験を見せてくれるブースがあり、大企業の規模の大きさを感ずることができました。念願の研究所見学では、洗剤の研究所を見せていただきました。そこには、約70台もの洗濯機が置いてありました。研究に使われる”汚れ”は、従業員の肌から直接布にこすり取ったものや、従業員が一日着た服だそうです。これには驚きでした。私の想像する汚れとは、洋服などにケチャップや墨がべったりとついているものでした。しかし、本当の研究とは、普段の生活に密着し、よくある悩みを解決することではないのだろうか、と思いました。確かに、ケチャップや墨がべったりとつくことはほとんどありません。ここでは、従業員全員がひとつの研究に取り組んでいました。別々のことをしていても互いに協力しあう。このようなところは、あるようでないのではないのでしょうか。

従業員の方々に「私たち高校生に求めることは何ですか。」という質問をしたときに、印象に残った言葉があります。それは、「打ち込めることやっておけばいいよ。」ということでした。まだ私にはそのようなものはありません。まだ高校一年生、これから見つけていきたいです。また、従業員の方々は、留学経験が重要だとおっしゃっていました。半年でも異文化に触れてみると、自分の考えが変わるそうです。そのためには、英語は必須です。英語は得意といえる立場ではないので、こつこつと力をつけていきたいです。しかし、それだけではなく、話す力、つまりコミュニケーション力もつけていきたいです。そのためには、常に自分の意志を持ち、相手のことを十分に考慮したいです。

しだいに自分がちっぽけに思えてきました。高校に入学し、視野が広がったと実感していましたが、まだまだ私の見ている世界は小さかったようです。この企業訪問を通じて、大企業への憧れが生まれ、自分の将来が少し鮮明になりました。

○OB・OGによる懇談会

目の前に東大生がいることが初めは信じられませんでした。その緊張したムードで始まった一回目。堅苦しい雰囲気になるかと思っていましたが、意外にもフレンドリーで、話をリラックスして聞けました。その方は、経済学部で、私たちにプレゼンテーションで「ゲーム理論」という人間関係を数字化したものを教えてくださいました。とてもおもしろく、文系でもこんなことをやるのか、と興味がわきました。

二回目の方も経済学部で、勉強法を教えてくださいました。「二日目からが勉強」これにつけるそうです。問題集は一回解いて終わりではなく、もう一度解く。せめて間違っただけでも解く。何回も言われました。この言葉を聞いて、解いた問題のうち、間違っただけのものにはチェックをつけています。このことを習慣化して、積み上げていきたいです。

三回目。自由に話を聞いてよいと、私は迷わず唯一のOGさんのところへ向かいました。その方の話を聞いて、私は「この人にはしっかりとした目的がある」と確信しました。聞いているだけでこんなにも相手に惹きつけられるのは、本当に人生で初めてでした。話に聞きぼれてメモをほとんどとっていません。特に印象に残っているのは、「自分を安売りしない」ということでした。日々の生活においても、恋愛に関しても・・・相手にへこへこばかりしない。自分をしっかり持つ。流されない。私の解釈ですが、このことを忘れずにこれからの人生を過ごしていきたいです。この方からは、人として、女性として大切なこと、人生の生き方といった、とても意味深い話を聞けました。

この懇談会では、大学生の楽しさ、凄さを目の当たりにすることができました。

○東大見学会

日本一、東大にやってきました。東大は、よく耳にするも、具体的な実態はほとんど知らず、キャンパスの想像すらできていませんでした。赤門と呼ばれる門をくぐると、そこは立派な町でした。近所では到底見かけないようなレンガ調の大きな建物がいくつもありました。キャンパス内には、コンビニをはじめ、カフェ、レストランなど全部で24つもあります。「ああ、これが東大か。やっぱりほかとは全然違う。」ため息が出るほどでした。

午前中は、銀河についての講義を受けました。その会場に着くまでが長かったです。キャンパス内は迷子になってしまうほど広いのです。講義は大学生の方がしてくれました。私はてっきり教授と呼ばれる人がやってくれるものだと思っていたので、少しびっくりしました。しかし、大学生が人前に出て話をするのはとてもかっこよかったです。説明がわかりやすいのはもちろん、話の持って行き方や効果的な写真、聞き手の興味を惹きつける工夫がてんこもりです。その講義で見せられた銀河の写真は今でも思い出すことができるくらいきれいでした。星ってこんなにもきれいなのかと思いました。

お昼には、レストランで食べ、ちょっとだけ大人の気分を味わえました。

午後、再び講義を受けました。午前中と同じ天体について。ここでは、太陽系に焦点を当てた講義でした。今まで不思議にも思わなかった「なぜ太陽系において、地球だけが海をもつのか。」という問いでは、ふむふむと私でも納得できるように分かりやすく説明していました。ちなみにこの問いの答えは、「ハビタブル・ゾーン」という地表に海が存在できる領域が、どんな系にもあるから。太陽系でいうその領域がちょうど地球にあたる。」ということでした。難しい知識を知った気がして嬉しかったです。また、教授は、ところどころに笑いを含んだ話があって楽しい講義でした。

懇談会のとくと同じように、東大と聞いて最初は緊張しましたが、全然そんなことはなく、むしろ自由な感じがします。各々が自分のやりたいことを思う存分やっている気がしました。私も大学生になったら、自分のやりたいこと、興味があることを追究し、世界を広げていきたいです。

